

令和八年度 入学式 式辞

四月となり、春の暖かさを感じられる季節となりました。本日、晴れて入学式を迎えられました第八十二期生 九十五名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、中学校の制服に身を包み、成長した我が子の姿を、まのあたりにされた保護者の皆様方におかれましては、感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。

さらに、新入生の前途を祝し、これから始まる中学校生活を応援していただくため、ご来賓の皆様には早朝よりご臨席を賜り、誠にありがとうございます。皆様方には、平素より昭和中学校の教育活動の推進に、ご理解とご協力をいただいておりますこと、高いところからではございますが、厚くお礼申しあげます。

とりわけ、学校運営に関わりましては、PTA会長様をはじめ、役員・実行委員会の皆様方には、たいへんお世話になっております。今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申しあげます。

さて、新入生の皆さんは、今日から七十九年の歴史と伝統のある昭和中学校の一員となります。中学生としての自覚と誇りを持って、これからの三年間を過ごしてほしいと思います。入学にあたり、勉強や部活動など、不安に思っていることもたくさんあると思いますが、今日の式に参加してくれている新二年生、そして生徒会役員をはじめ、皆さんの先輩が、優しく出迎えてくれることと思いますので、安心して中学校に通ってください。

昭和中学校には、新入生の皆さん一人ひとりが持つ『秘められた力』を発揮できる場として、六つの運動部と、三つの文化部があります。部活動の良さは、異なる学年のなかまと、スポーツや文化的な活動を通じてつながれるというところにあります。また、技能や能力を伸ばすだけでなく、活動を通して『礼儀』や『マナー』が学べることなど、将来の皆さんにとって素晴らしい財産になるはずです。部活動に限らず、何か一生懸命に打ち込めるものがあることで、自分自身に自信を持つことができたり、充実した中学校生活を送れたりできると考えています。ぜひとも、中学生のこの時代に、何か打ち込めるものを見つけて、人としてさらに大きく成長してほしいと願っています。

新入生の皆さんには、「一生懸命にやることは、素晴らしい！」「一生懸命にやる姿は、カッコよく！」「一生懸命に頑張ることは、楽しい！」という経験を中学校でたくさんしてもらいたいと思っています。ただ、学校のように集団で生活する以上は、人には得意・不得意があることを十分に理解したうえで、たとえ、うまくいなくても一生懸命に頑張っているなかまへの励ましの声や、優しい応援が飛び交うような、そんな集団の一員になってくれることを願っています。

私は、昨年度に昭和中学校の校長に着任し、一年間、新入生の皆さんの先輩にあたる新二年生・三年生の様々な活動を観てきました。私が一番感心したのは、上級生が下級生に対して良き見本を示し、とても優しく接してくれていたことでした。例えば、『体育大会』では、一年生から三年生が縦割りでワンチームとなり『ダンス』に取り組んだ場面などでも、上級生がリーダーシップを発揮し、下級生に優しくサポートする姿がありました。また、『部活動』では、色々なことを教えてもらい支えてくれた三年生が部活動を引退する時に、とてもさみしい思いをした下級生の姿も見てきました。そのようなことがずっと引き継がれてきていることが、昭和中学校の『良き伝統』であると感じています。

昨年度、私は、「めざしたい学校」として3つの目標を掲げましたが、その一つが、「みんなが笑顔で登校できる優しさ溢れる学校」でした。昭和中学校の伝統とも言うべき、この優しさ溢れる雰囲気、さらに良きものにしていきたいと思っています。また、昭和中学校の校訓の中のひとつに『自主』という言葉があります。「自ら行動する」という意味です。昭和中学校で過ごす三年間で、人から言われたことだけをやるのではなく、『自ら考えて行動できる人』に育ってもらいたいと心より願っています。

結びになりましたが、今日入学された皆さん、保護者の皆様。昭和中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆様・地域の方々にご協力をいただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものとなるよう、また、地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和八年四月三日

大阪市立昭和中学校 校長 山咲進一

